

児童・生徒の保護者及び教職員の皆様へのお願い

(新型コロナウイルス感染症防止の取組について)

合志市立学校の児童・生徒の保護者及び教職員の皆様にぜひお伝えし、お願いしたいことがあります。それはこれから先どうやって私たちの命をそして生活を守っていくかということにつながっています。私たちは昨年からの新型コロナウイルス感染症によってそれまでの日常が奪われ、多くの新しい対応を強いられてきています。医療従事者の皆様をはじめとする多くの方々の献身的な活動には心から感謝をしています。しかし残念なことに感染の第4波は「変異株による感染拡大」とともにこれまで以上に私たちの生活に大きくのしかかってきている状況です。熊本県でもリスクレベルが最高の5(厳戒警報)まで引き上げられ、「まん延防止等重点措置」の適用が始まりました。この状態が続けば、医療体制も維持できなくなり、すべての日常と多くの命が失われることにつながりかねません。何としても皆様のご理解とご協力をお願いします。

本市では今のところ教職員や児童生徒に陽性者が出た場合のみ「臨時休業(休校)」の措置をとっておりますが、これは、「本人が感染した」場合だけでなく、「家族または本人に発熱等の症状がある」場合、「本人や家族が接触者や濃厚接触者になった」場合など感染リスクが発生している場合は、すべて「登校・出勤しない」ことを守っていただいていることを前提としたガイドラインです。もし、このガイドラインが守られなかった場合、学校でのクラスターの発生を防ぐことはできません。「具合は悪いけど新型コロナウイルス感染症じゃないだろう。」とか「少し異常はあるけど大丈夫だろう。」という判断が危険なのです。「念のため休んで、様子を見る。」そして、「かかりつけの病院に相談する。」ことが大切なのです。全国で発生しているクラスターも感染防止上の対策がおろそかにされて発生しているのではないのでしょうか。決して「休む・休ませる」ことを躊躇

しないで下さい。「勉強が遅れると困るから」と考えてしまう児童・生徒の皆さん、「家より学校のほうが何かあった時安心だから」と考えてしまう保護者の皆様、そして、「子どもたちや他の先生方に迷惑をかけたくない」と考えてしまう教職員の皆様、常に「自分が感染しているかもしれない」という意識を持ち続けてください。

また、家族みんなで新型コロナウイルス感染症との向き合い方を考え実践してほしいと思います。例えば「不要不急の外出を避ける」ことは「家族の誰か一人でも守らないと家族みんなの感染リスクが高くなる」ことと裏表にあります。「仕事」や「生活」のための外出は当然必要です。何が「不要不急」なのかをしっかりと考え判断して下さい。そしてリスクを背負って外出している場合は、常に感染予防に心がけているかチェックして下さい。

次に家庭内でも感染リスクを減らす対策を考えていただきたいと思います。手指の消毒、共用部分の消毒、換気などできることを続けることで大切な家族を守ることができます。これまでもご家族の中で陽性者が出ても家庭内での対策の徹底で、ほかの家族の方は陰性だったという報告を受けるとご家族の皆様の笑顔が浮かびました。

これらの取り組みはこれからが本当の勝負になります。私たち一人一人が、家族の一員として、学校の一員として、そして地域の一員としてその責務を果たしてみんなの笑顔を取り戻しましょう。

令和3年5月

合志市教育長

中島栄治